

# ウィルビィバンビーノ 全体的な計画

保育理念(事業運営方針)		① 楽しい保育、安心な保育、安全な保育の実践 ② 心のバリアを取り除くための具体的保育の実践		<b>保育目標</b> ① 十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図ります ② 健康、安全など、生活に必要な基本的習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培います ③ 人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にすることを育てるとともに、自主・自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培います ④ 生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、豊かな心情や思考力の芽生えを培います ⑤ 生活を通して、言葉への興味や関心を育て、話したり、聞いたり、相手の話を理解するための言葉の豊かさを養います ⑥ 体験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培います			
保育方針		『生きていく力の芽生え』 『学ぶ力の芽生え』 『穏やかな道徳性の芽生え』 『豊かな感性の芽生え』	保育の特色	限りない愛着の形成と家族支援	幼児期の終わりに 育って欲しい10項目 ア：健康的な心と体 イ：自立心 ウ：共同性 エ：道徳性・規範意識の芽生え オ：社会生活との関わり カ：思考力の芽生え キ：自然との関わり・生命尊重 ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ：言葉による伝え合い コ：豊かな感性と表現		
クラス		0歳児クラス		1歳児クラス		2歳児クラス	
年齢		0歳		1歳		2歳	
年齢別保育目標		・一人ひとりの生活リズムの安定を基盤とし、家庭との連携のもとで心地よく生活する ・特定の大人との応答的な関わりを通じて、情緒的な絆を形成していく ・自分は無条件でありのまま愛されているという感覚を持つ		・安心できる保育者との関係の下で、自分でしようとする気持ちが芽生える ・十分に身体を動かし探索する中で、聞く・見る・触れる・嗅ぐ・味わうなどの経験をし、興味や好奇心を育む ・自我が芽生え自分の要求、気持ちを行動や言葉で表し、自己主張する気持ちが育つ		・保育者と安定した関わりの中で、自分の身の回りの事を少しずつ自分でしようとする ・好きなあそびを楽しんだり、友だちとの関わりを広げたりしていく ・保育者を仲立ちとしてみたくもりのイメージを共有しあったあそびを楽しむ	
養護	生命の保持	生理的欲求を満たし、1日24時間を視野に入れ安定した生活リズムを作る		健康で安全な生活ができるような環境の中で、応答的な関わりを通して生理的欲求を満たされるようにする		安定した園生活を送る中で、簡単な身の回りのことを自分でもやってみようとする	
	情緒の安定	応答的な触れ合いにより愛着の絆を形成する		子どもの気持ちを受容し、共感しながら信頼関係を築く		自己主張を自我の順調な育ちと理解し、さりげなく援助する	
教育	3つの視点	・寝返り、ハイハイ、お座り、つかまり立ち、伝い歩き、一人立ちの段階を踏んで歩行に繋げる ・園生活を通して食事、睡眠、あそびなど生活リズムの育ちを促す		5領域	身の回りの簡単な事を自分でしようとする気持ちが芽生える		生活の環境を整えることで、自分でできることを自分でしようとする
	健やかにのびのびと育つ 《身体的発達》	・寝返り、ハイハイ、お座り、つかまり立ち、伝い歩き、一人立ちの段階を踏んで歩行に繋げる ・園生活を通して食事、睡眠、あそびなど生活リズムの育ちを促す		健康	身の回りの簡単な事を自分でしようとする気持ちが芽生える		生活の環境を整えることで、自分でできることを自分でしようとする
	身近な人と気持ちが通じ合う 《社会的発達》	・応答的な触れ合いや語りかけにより、言葉の理解や発語の意欲が育つ ・特定の保育士との深い関わりにより基本的信頼関係が生まれる		人間関係	保育者や友だちに関心を持ち、真似をしたり関わったりしようとする		保育者が子どもの仲立ちとなりお互いの思いを伝えることで、順番を待つなどの決まりがあることを知る
	身近なものに関わりが育つ 《精神的発達》	・生活の中で様々な音、形、色、光、手触りなどを感じて楽しむ ・安心できる環境の下で身近な物に興味や関心をもつ ・保育士が歌うわらべ歌や触れ合いあそびを通して、手足を動かして喜んだり楽しんだりする		環境	好きな玩具や遊具に興味をもって十分な探索活動をする		場の設定・遊具・玩具を整え、みたくもりのあそびを保育者と友だちと楽しむ
食育	食を営む力の基礎	・生活の中で様々な音、形、色、光、手触りなどを感じて楽しむ ・安心できる環境の下で身近な物に興味や関心をもつ ・保育士が歌うわらべ歌や触れ合いあそびを通して、手足を動かして喜んだり楽しんだりする		言葉	話しかけややりとりの中で実感と言葉が結びつく経験を楽しむ		生活やあそびの中で簡単な言葉でのやりとりを楽しむ
		・食べることに意欲を持つ	・自分で食べようとする気持ちを育て、食べることの楽しさを感じられるようにする	表現	・保育士と一緒に歌ったり手あそびをしたり、リズムに合わせて体を動かす ・水、砂、土、紙等様々な素材に触れ感覚を楽しむ		・保育者や友だちとあそぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんであそぶ ・歌を歌ったり、手あそびや全身を使うあそびを楽しんだりする
★健康支援/状況把握・増進・疾病対応 (保健・安全計画等別紙)		★環境及び衛生管理並びに安全管理 (保健・安全計画・散歩計画等別紙)		★災害への備え(避難計画等別紙)		★子育て支援	
●健康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握 ●年に2回、嘱託医による健康診断(内科)と歯科健診 ●登園時及び保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応 ●年1回職員健康診断及び毎月の検便(栄養士、調理師、調乳担当者) ●アレルギー対応 ●AED、心肺蘇生研修(随時)		●施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒等、安全管理及び自主点検 ●子ども及び職員の清潔保持 ●感染予防対策指針の作成と実施及び保護者との情報共有 ●危険箇所チェック ●事故発生時役割分担マニュアルの周知徹底 ●散歩ルート of 定期的な見直し ●害虫駆除		●避難訓練(火災・地震・不審者対応)の実施(毎月) ●消火訓練の実施 ●被災時における対応と備蓄		教育及び児童福祉としての保育並びに子育て支援の有機的な連携が図られ、子どもの成長に気付き、子どもの成長に気付き、子育ての喜びが感じられるよう子育て支援に努める	
★情報公開等(規定集等別紙)		●人権尊重 ●虐待確認保護 ●個人情報保護 ●苦情処理解決対応及び第三者委員設置 ●看護師、栄養士等の専門者の配置 ●ホームページの開設		●法人研修の継続 ●保育指针对応の園外・園内研修の継続 ●講師を招いての園内研修 ●他施設視察・見学 ●各種保育団体や行政機関が実施する研修会への積極的な参加 ●処遇改善に必要な研修		●保育所の評価(全体の反省による全体計画等の反映) ●保育士等の評価(自己評価と子どもの評価の確率)●PDCAサイクルの実施	
地域の実態に対応した保育事業と行事への参加		・地域の行事やお祭りに参加する ・地域のさまざまな世代の人と交流することで、園児をはじめ職員も、社会の一員であることの自覚につながり、園と地域とのつながりを大切にしていこう		研修計画		自己評価等	